

熊本県阿蘇家畜保健衛生所

〒869-2612 阿蘇市一の宮町宮地2639-1

TEL 0967-22-0041 FAX 0967-22-4612



## 豚流行性下痢症（PED）の発生が続いています！

### 【県内におけるPED発生状況】

平成29年1月以降、県内では3地域、5農場で発生が確認されています。

#### 県内のPED発生状況（H29. 1～）

番号	発生地域 (地域振興局別)	発生年月日	非発生農場への 復帰日
1	菊池	平成29年1月29日	—
2	菊池	平成29年1月31日	—
3	菊池	平成29年2月15日	—
4	天草	平成29年3月15日	—
5	鹿本	平成29年4月11日	—

※非発生農場への復帰：農場内全体で症状がみられなくなったことを家畜防疫員が臨床検査により判断した時点から8週間経過した場合。

本病は毎年、全国的に8月頃まで発生がみられるため、以下2点について重点的に発生予防対策を行って下さい。

#### ① 飼養衛生管理の徹底及びワクチンの適正使用

ワクチンの効果は感染予防ではなく、母豚の抗体を多く含む初乳を飲むことによる子豚の発症の阻止及び症状の軽減であり、効果を最大限引き出すには良好な畜舎環境の維持、ウイルスの侵入防止、ウイルス量の低減措置が必要です。

#### ② 畜産関係施設における対策の徹底

畜産関係施設敷地内においては、動線の工夫により交差汚染を防止すると同時に、入退場時に車両、靴底、手指、運転席の足下のマット等の洗浄、消毒を確実に実施してください。

また、本病を疑うような下記の症状が見られたときには、直ちに当所へお知らせ下さい。

- ① 1腹の哺乳豚のうち、半数以上が水様性下痢、嘔吐又は死亡し、それが複数腹で認められた場合
- ② 1腹の哺乳豚のうち、1頭以上が水様性下痢、嘔吐又は死亡し、半日以内に同一腹又は他の母豚が分娩した哺乳豚に同じ症状が拡大した場合
- ③ 同一飼養区画内で複数の繁殖豚又は肥育豚が、食欲不振、下痢（軟便から水様性）又は嘔吐を呈した場合

# 平成29年度の熊本型放牧が開始されました！

平成29年4月20日に阿蘇市の狩尾原野及び跡ヶ瀬牧野で熊本型放牧の入牧式が行われました。この事業は、平坦地農家の経営コスト低減と規模拡大、及び阿蘇牧野の草地保護と景観維持を目的に、平成8年度から実施されています。

ピロプラズマ病や放牧中の事故が懸念されるため、観察等を十分行っていただくようお願いいたします。また、5月からは木落牧野での菊池・阿蘇広域放牧も予定されています。



## ゴールデンウィークにおける口蹄疫等の防疫対策の徹底について

ゴールデンウィークを迎えるに当たり、日本から海外への渡航者が増えることから、口蹄疫等の病原体の侵入リスクが高まることが考えられます。畜産関係者の皆様におかれましては、従来からの防疫対策に加え、下記の事項に留意して、防疫対策に万全を期すようお願いいたします。

- 口蹄疫等の発生地域への渡航を可能な限り自粛する。仮に渡航する場合は
  - ・ 畜産関連施設に立ち入らない
  - ・ 動物との不要な接触は避ける
  - ・ 肉製品等を日本に持ち帰らない
  - ・ 帰国後一週間、衛生管理区域に立ち入らない
- 衛生管理区域に関係のない人、物を入れない
- 発生時に備え、連絡先の確認を行う

口蹄疫を疑う症状がみられた等の場合には、休日中でも家畜保健衛生所は対応いたします。緊急の際は、当所の留守電に登録の携帯番号へご連絡下さるようお願いいたします。

## 近隣諸国における悪性伝染病発生情報

病名	発生地	発生日	畜種	型
口蹄疫	中国	3月23日	豚	O型
		4月16日	牛	O型
	モンゴル	2月2日~4月3日	牛	O型
アフリカ豚コレラ	ロシア	3月18日、4月2~3日	豚	
高病原性	ロシア	4月12日	家禽	H5N6
		4月20日		H5N8
鳥インフルエンザ	台湾	3月31日~4月6日	地鶏、がちょう	H5N2
	ベトナム	4月5日~17日	家禽	H5N1

平成29年5月1日時点

## 毎月20日はくまもと家畜防疫の日



韓国や台湾など近隣諸国では依然として悪性家畜伝染病が発生しています。地域全体で衛生水準を上げる事が重要です。

防災情報や家畜伝染病発生情報を配信しています。

下記アドレスもしくは右のQRコードより、登録用ホームページへ！

<http://www.anshin.pref.kumamoto.jp/>

